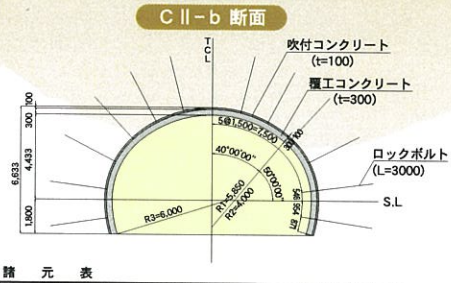
宮尾山トンネル

工　事　概　要

- 工 事 名：(主)浜田作木線 下口羽工区 地方道路交付金(改良)宮尾山トンネル工事
- 工事箇所：島根県邑智郡邑南町下口羽地区
- 工　　期：平成１８年９月２３日～平成１９年７月２４日（予定）
- 工事概要：土砂運搬工（８２７９.０m³）覆工コンクリート工１１２m（８６９.９m³）インバートコンクリート工（５１７.６m³）残土処理工（９６００m³）坑門工２箇所コンクリート舗装工（１５２.２m³）側溝工２２６m トンネル延長１１３m

地質縦断図/支保パターン図

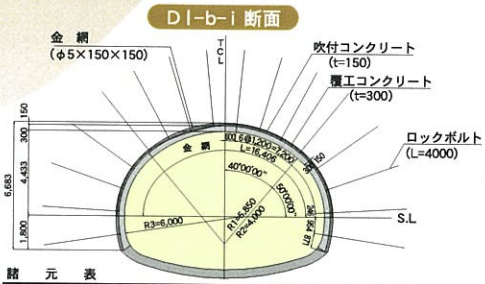
ＣⅡ－b 断面



諸　元　表

ロックボルト 長さ(m)	周方向(m)	延長方向(m)	鋼アーチ支保工 上半	下半	吹付厚(cm)	覆工厚(cm) アーチ	インバート	金網	変形余裕量(cm) 上半	下半	インバート
3.0	1.5	1.2	H-125	－	10	30	－	－	0	0	0

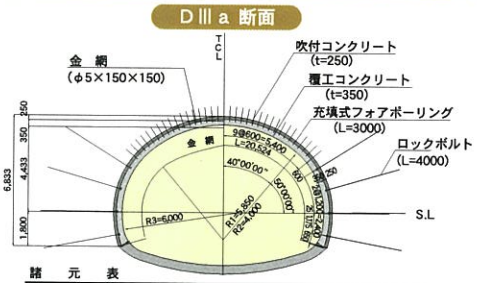
ＤⅠ-b-i 断面



諸　元　表

ロックボルト 長さ(m)	周方向(m)	延長方向(m)	鋼アーチ支保工 上半	下半	吹付厚(cm)	覆工厚(cm) アーチ	インバート	金網 上半	変形余裕量(cm) 上半	下半	インバート
4.0	1.2	1.0	H-125	H-125	15	30	45		0	0	0

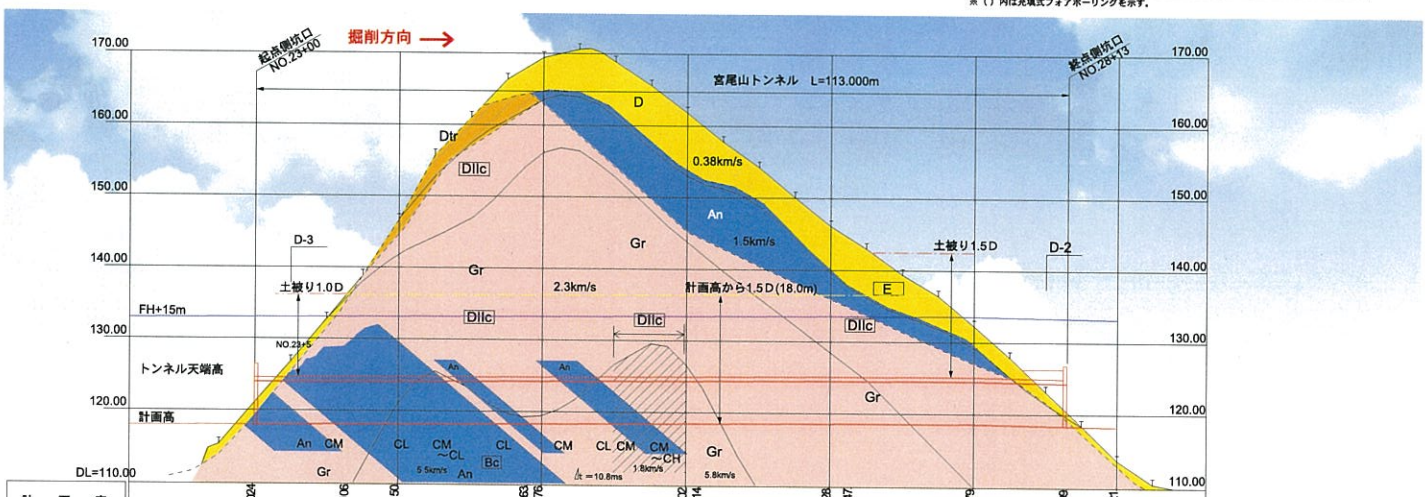
ＤⅢａ 断面



諸　元　表

ロックボルト 長さ(m)	周方向(m)	延長方向(m)	鋼アーチ支保工 上半	下半	吹付厚(cm)	覆工厚(cm) アーチ	インバート	金網	変形余裕量(cm) 上半	下半	インバート
4.0 (3.0)	1.2 (0.6)	1.0 (1.0)	H-200	H-200	25	35	50	上・下半	0	0	0

※（ ）内は充填式フォアポーリングを示す。

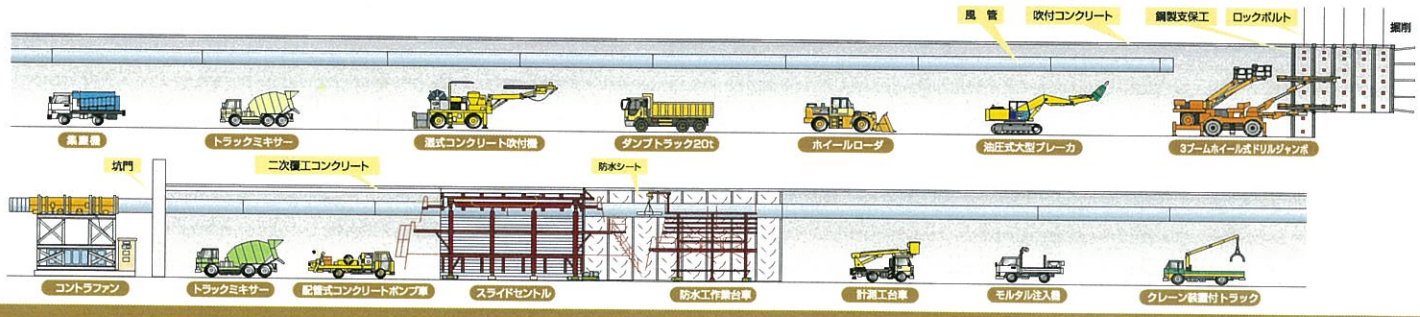


計画高		118.024		118.105		118.150		118.253	118.276		118.402	118.414	118.508	118.547	118.579		118.399	118.221
測点		No.23		+13		No.24		+18	No.25		No.26	+02	No.27	+03	No.28		+13	No.29
断面区分		坑門工	DIIIa		DⅠ-b-i			CⅡ-b			DⅠ-b-i				DIIIa			坑門工
区間長		0.5	12.5		25.0			24.0			21.0				29.5			0.5
支保構造 覆工厚(インバート厚)			35cm (50cm)		30cm (45cm)			30cm			30cm (45cm)				35cm (50cm)			
支保構造 吹付厚			25cm		15cm			10cm			15cm				25cm			
支保構造 ロックボルト L:長さ P1:周方向間隔 P2:延長方向間隔	※（ ）内はフォアポーリングを示す。		L =4.0m (3.0m) P1=1.2m (0.6m) P2=1.0m (1.0m)		L =4.0m P1=1.2m P2=1.0m			L =3.0m P1=1.5m P2=1.2m			L =4.0m P1=1.2m P2=1.0m				L =4.0m (3.0m) P1=1.2m (0.6m) P2=1.0m (1.0m)			
支保構造 鋼製支保工 P:建込間隔			H-200 P =1.0m		H-125 P =1.0m			H-125（上半のみ） P =1.2m			H-125 P =1.0m				H-200 P =1.0m			
掘削補助工法		充填式フォアポーリング						—							充填式フォアポーリング			
掘削工法		発破掘削：上半先進ベンチカット工法（１方施工）						発破掘削：補助ベンチ付全断面工法（１方施工）							発破掘削：上半先進ベンチカット工法（１方施工）			

地層・岩体区分の凡例

D	崖錐～風化土砂	起点側はレキ・転石混りの砂質土が主。終点側はレキ・転石混りの粘性土が主。
Dtr	崖錐～風化土砂	不安定な崖錐～風化層。岩屑混りの砂質土～浮き石岩塊。
An	流紋岩質安山岩	岩脈。硬質岩。
Anb	玄武岩質安山岩	岩脈。硬質岩。
Gr	花コウ岩類	亀裂やや多く、硬質な岩。終点側では風化がやや進行している。

施工機械配置図



発注者：島根県 県央県土整備事務所　　施工会社：株式会社 堀工務店